

お役立ち情報・リンク集

●公益財団法人かながわ国際交流財団

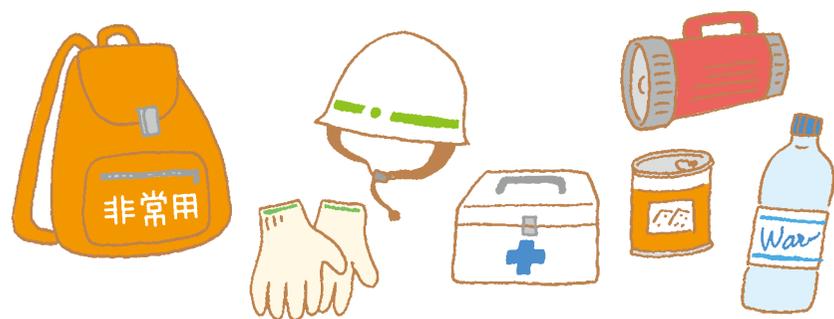
◎ **かながわ・こみゅにてい・ねっとわーく・さいと**
「防災・安心・安全」 <http://www.kifjp.org/kcns/disa>
多言語資料や支援者向け情報などの紹介。

◎ **やさしい日本語でコミュニケーション (ダウンロード可)**
<http://www.kifjp.org/shuppan/leaflet>
外国人に分かりやすく情報を伝えるポイントの紹介。

●財団法人自治体国際化協会

◎ **多文化共生ポータルサイト (災害)**
<http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/other/disaster.html>

◎ **外国人住民災害支援情報**
<http://www.clair.or.jp/tabunka/shinsai>



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**
Kanagawa International Foundation

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階

TEL ▶ **045-620-0011** FAX ▶ **045-620-0025**

メールアドレス ▶ **tabunka@kifjp.org**

URL ▶ **http://www.kifjp.org**

※このパンフレットは「多言語情報」「健康・保健」「出産・子育て」「コミュニティ」というテーマでも発行しています。財団のホームページでもダウンロードできますので、ご活用ください。



東日本大震災を体験した
ブラジル出身の男性の声

3月11日は夜勤明けに家で寝ていたときに地震が起こりました。今まで経験したことない激しい揺れにただビックリするだけで、何をしたらよいかわかりませんでした。とりあえずテレビをつけましたが、日本語がわからず状況が理解できませんでした。

同国出身の仕事仲間と連絡を取り合い、大使館のホームページや母国のニュースで災害の概要はわかりましたが、どこに逃げればよいのか、計画停電がいつ起こるのか、地域の情報がなくてとても不安でした。

支援者のためのチェックリスト

- あなたの市町村では、外国人住民は災害時の要援護者に含まれていますか？
- 災害関連の多言語情報や外国人住民対応のための手引きを見たことがありますか？
- 地域の防災訓練に外国人住民は参加していますか？
- 外国人住民に対し、やさしい日本語に言い換えて対応したことはありますか？



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**
Kanagawa International Foundation

災害に備えるために

防災計画上の位置づけ

外国人住民は国や神奈川県防災計画において災害時要援護者に位置づけられています。言語や文化の違い、災害経験の有無などに配慮した、外国人住民向けの対策が必要です。

防災情報の提供・普及

防災・減災に関する多様な多言語情報が国や自治体から発行されています（裏表紙参照）。外国人住民が集まる場所（エスニックレストランや教会など）を活用した情報普及、外国人住民をターゲットとした防災訓練の実施、国際交流イベントでの起震車体験の企画など、効果的な普及啓発を進めていきましょう。

平常時から顔の見える関係づくり

日頃から外国人コミュニティと接点を持ち、情報伝達方法などを整備しておく、非常時の対応もスムーズに進みます。外国人住民は支援の対象である一方で、支援する側としても活躍しています。過去の災害では通訳を担ったり、救援活動や復興支援の際に活躍した例が数多くありました。



被災地でシュバスコ（ブラジル風バーベキュー）の炊き出しをする在日ブラジル人たち

情報を確実に伝えるための工夫

「被災」「避難」「高台」「罹災証明書」……災害関連の用語は日常使わない熟語が多く、翻訳するだけでは意味が正確に伝わらない場合もあります。やさしい日本語に置き換える、ルビをふる、イラストを活用するなどの工夫ができます。口頭で伝える際はジェスチャーや身振り手振りも交えると効果的と言われています。

（例）やさしい日本語の例

「津波が来ます。高台に早急に避難してください」

→ 「津波 < 高い 波 > が 来ます。高い 所に 今すぐ 逃げて ください」

災害発生時に活用できるリソース

災害が発生した時、外国人住民に正確な情報を伝えることが被害を少なくするために非常に重要です。下記を参考に、いざという時の多言語での情報発信のあり方を準備できるといいですね。

◎ 災害時多言語情報作成ツール（財団法人自治体国際化協会）

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/saigai.html>

外国人住民に対する円滑な情報提供を支援するために、避難所などで活用できる166の文例が6言語で書かれた「多言語表示シート」や、「多言語音声情報作成ツール」を提供しています。必要分を印刷しておけば、停電時でも対応が可能です。

◎ 神奈川県災害多言語支援センター

神奈川県は、大規模災害発生時に当財団と協働して「神奈川県災害多言語支援センター」を設置・運営します。外国人住民に向けて多言語で災害情報などを発信するとともに相談対応や通訳支援を行ないます。

（参考）「災害時の多言語支援のための手引き」（財団法人自治体国際化協会）

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/docs/tebiki2012.pdf>

◎ 多言語放送

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/info/info07.html>

NHK総合テレビの副音声とラジオ第2放送では、緊急地震速報、津波警報が、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語で放送されます。NHKの「NHKワールドTV」「NHKワールドラジオ日本」は多言語で放送しており、スマートフォンでも視聴することができます。

